



11月18日(金)

宮崎市民プラザ
オルブライトホール

《大人券》
1,000円

《小中高大学生》
当日 500円

①13:30 開場

14:00~15:50 上映

16:00~16:40 講演

②17:50 開場

18:20~19:00 講演

19:10~21:00 上映

チケットの取り扱い・問い合わせ

コープみやざき各店舗

コスモス会 090-7458-0926(亀田)

原作者 旭爪あかねさん講演 演題「ひきこもって、そこから生き直して」

主催：コスモス会(不登校・ひきこもりの子どもを持つ親の会)事務局 0985-89-0336

共催：みやざき楠の会 みやざき若者サポートステーション 遊学舎 フロンティア会

開風坊 宮崎市 宮崎市教育委員会 宮崎市社会福祉協議会 NHK宮崎放送局 MRT宮崎放送 UMKテレビ宮崎 MCN宮崎ケ

後援：ケーブルテレビ 宮崎日日新聞社 朝日新聞社 毎日新聞社 西日本新聞社 読売新聞西部本社 南日本新聞社 みやざき中央新聞

コープみやざき 宮崎医療生活協同組合

「アンダンテ ～稲の旋律～」

映画『アンダンテ ～稲の旋律～』は、主人公 千華(ちか)が、めぐり逢った人々とのつながりの中で、失われた心を取り戻していく「人間再生」の物語です。

物語

映画の主人公「藪崎千華」は、母親の強い希望で幼い頃から音楽の道を歩むが、音楽社会の競争は厳しく次第に自信を失くしてゆく。やがて自分自身をも見失い登校拒否となり、大学中退を余儀なくされる。大学中退後、アルバイト生活に入るが、職場での人間関係がうまく作れず、仕事を転々とする生活を繰り返し続ける。そしてとうとう、一日中家に閉じこもるようになり、日毎の両親とのいざこざも絶えなくなってしまふ。そんな自分を思いつめた千華は、千葉県の水田へ、「誰か私を助けてください。」と書いた紙切れをペットボトルに詰め、「心の SOS」として置いてくる。暫くして、この水田の持ち主でありペットボトルを捨てた広瀬晋平から手紙が届く。その手紙の内容は真剣に千華の SOS に応えようとしていた。千華は、自分はどうのような人間か、どうして他人と会うのが怖いのか、長い長い手紙を晋平に送った。こうして始まった千華と晋平の交流は、千華のひきこもり生活を徐々に変化させていくのだが……！

キャスト



主人公『藪崎千華』役：新妻聖子(にいづま せいこ)

1980年10月8日生まれ。愛知県出身 10代をタイのインターナショナル・スクールで過ごす。帰国後、上智大学で法律を学びながら TBS「王様のブランチ」でタレント活動を開始。2003年、「レ・ミゼラブル」エポニーヌ役でミュージカル・デビュー。以降、様々な舞台でヒロインを演じ、ミュージカル界の歌姫としての地位を確立。歌手としては2006年にポニーキャニオンより CD デビュー。これまで発売したシングルは全てテレビドラマのタイアップ曲となっている。

千葉の農業家：広瀬 晋平 / 笥 利夫(かけい としお)
千華の元同僚：堀川 逸子 / 秋元 奈緒美(あきもと なおみ)
千華の母親：藪崎 由利恵 / 宇都宮 雅代(うつのみや まさよ)
千華の父親：藪崎 信昭 / 村野 武範(むらの たけのり)
晋平の師匠というべき農業家：山原 健蔵 / 松方弘樹(まつかた ひろき)
駅長／中条きよし(なかじょう きよし)



原作：旭爪 あかね(ひのつめ あかね)

千華やかつての自分とおなじように苦しんでいる人たちに、「悩んだり、苦しんでいるのはあなただけじゃないよ」と伝えたいという気持ちで、この小説を書きました。泥から生まれる美しい稲の海が、銀幕一面に揺れている様子を想像します。そのなかを、ときには立ち止まったり後退もしながら、ゆっくりゆっくり歩きはじめる千華の心が、観てくださる方々の胸に届きますように。